

# た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX:0595(21)8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken>

E-mail:[iga-ken@iga.ed.jp](mailto:iga-ken@iga.ed.jp)

## 1年を振り返る時期へ

新年明けましておめでとうございます。

みなさまにとりまして、本年が素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

年始は比較的穏やかな天気恵まれていました。

が、その夕刻、突然スマートフォンの緊急地震速報が鳴り響きました。

石川県能登地域で地震が発生し、また心の痛む災害が起こってしまいました。

被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。



さて、3学期は子どもたちの成長のために取り組んできたことを振り返る時期でもあります。マニフェストに掲げた学力・人権・キャリアの3本柱の目標に取り組み、どの程度達成してきたのか、集計や分析を行っていかねばなりません。その際、結果を数値化することはとても重要だと思います。

身近な例で恐縮ですが、私の仕事をその一例としてお話しします。

教育研究センターには、エアコンの設置されていない会議室が2つあります。そのため、7月～9月の暑い時期、2つの会議室は全く使用されません。そこで、もっと利便性を高めるためにエアコン設置を要望してきました。

最近、教育委員会から「まず1つ設置するとすれば、どちらの部屋ですか？その理由は？」と質問されました。私は、その答えは勘ではなく、根拠となるデータが必要だと思いました。そこで、まずそれぞれの部屋の長さや広さを測りました。続いて、利用回数を各月のデータをもとに集計しました。そのとき、「部屋ごとの利用人数があれば、もっと説得力があるのに。」と気づきました。私は、センター利用報告書を一枚一枚めくりながら、部屋ごとの利用人数を集計していきました。その結果を報告すると、「理由がよくわかりました。その方向で財政に要望していきます。」と担当者の納得した返事がもらえました。

各学校で今取り組まれているマニフェストにも市の予算がついています。予算がなければ各学校は取組を行うことさえ難しいです。その教育予算を引き続き財政当局に要望し、納得を得て、予算措置を受けるためには、結果の数値が説得力を持ちます。

限りある市の予算を有効に使っているのだという証を数字で表していきましょう。

教育研究センターもみなさまにとってより良い室内環境を求めていきます。

共にがんばりましょう。